

うきは市立山春小学校 学校だより



「笑顔」

令和8年8月25日発行
発行者 校長 弘瀬 恵二



充実した2学期になるように

38日間の長い夏休みも終わり、学校に元気な子どもたちの声が戻ってきました。今年は日田や久留米で40℃を超える酷暑日もあり、日中外に出ることもままならない暑さが続きました。今年は夏休みのプール開放もなく、保護者のみなさまもお子さんの日中の様子がとても気になったことと思います。また、熊本地震や千葉県の豪雨、海や川の事故、交通事故等連日の報道が続く中、子どもたちが元気に登校し、2学期の始業式を迎えられたことをうれしく思います。

2学期は、子どもたちが楽しみにしているアリーナの水泳学習があります。市のマイクロバスで低・中・高学年に分かれて4日間行います。詳しくは、担任から連絡があります。最終日の4日目(9/24)は、保護者もアリーナで参観できますので、お時間が許される方はどうぞご覧ください。但し、プールは蒸し暑いです。

また、うきは市小学校教育研究会(10/2)や運動会(10/25)、学習発表会・フルーツコンサート(11/21)、などの大きな行事もあり、友達と協力したり、一人一人の頑張りや表現力を高めたりする場面がたくさんあります。それぞれ目標をもって進んで取り組めるよう支援していきたいと思います。

もしもの時に備えて…青少年赤十字防災教室



日本赤十字社の方々

胸骨圧迫は毎分120回のテンポで ハイゼックスの中のお米の出来ばえは なかなか上がれない防災すごろく



防災食のカレーは美味しかった

7/21(火)に、日本赤十字社福岡支部から3名来ていただき、5・6年生に対し防災教室を行いました。保護者の方々も救急法講習会でいった心肺蘇生法やAEDの使用法、分担した救命方法を大人と同じ内容で体験しました。また、災害時に使用するハイゼックス(災害救援用炊飯袋)を使った炊飯体験&試食、災害時を想定したすごろくゲームを全員体験しながら真剣に楽しく学びました。子どもも大人も災害や事故の時には、勇気を出して取り組む

ことを学びました。

平和学習～修学旅行で学んだ平和の尊さを6年生が伝えました

8/6(木)は、今から81年前に広島に原子爆弾が落とされた日。8時からテレビをつけて、平和記念式典を見ながら原爆が投下された8時15分に黙とうを捧げました。近年、世界各地で戦争が絶えません。私たちが当たり前で生活しているこの平和な世界が脅かされている状況にあります。平和の大切さを改めて考え直さなければいけません。

6年生は修学旅行で本物の戦争の傷跡を肌で感じました。その感じたことを全校のみんなにも知ってほしいという願いから、修学旅行後からずっと考えてきました。本年度は、低中高学年のところに出向いて、自分たちが感じた戦争の悲惨さと平和の尊さを学年に応じた分かりやすい内容と言葉で伝えました。6年生の発表を真剣に聞いた子どもたちは様々な思いを持ったことと思います。その思いを持ちながら来年度今の5年生が学校を代表して千羽鶴を長崎に収めるため、全校で千羽鶴を折りました。1学期末の忙しい中練習して伝えてくれた6年生の皆さん、ありがとうございました。



全校で千羽鶴を折りました



長崎で感じたことを伝える6年生たち

【6年生が中学年に向けた発表内容】

私達は5月に修学旅行に行きました。長崎ではアイスを食べたりグラバー園に行ったり眼鏡橋に行ったりたくさん楽しい思い出ができました。では、この写真を見てくださいピースもしていない、笑顔でもありませんね。なぜだと思いますか。それは、ここが原爆が落とされた中心地にある施設だからです。

私達は修学旅行に行って楽しい思い出だけではなく原爆のおそろしさや平和の大切さを学んできました。修学旅行で学んできたことをこれから発表します。今から平和集会を始めます。礼 お願いします。

まずは、原爆資料館を見学して学んだ原爆のことについて発表します。1945年8月9日午前11時2分長崎に原爆が落とされました。長崎に落とされたのは、「ファットマン」と呼ばれる原子爆弾で、重さが約4.5トン、全長3.25mです。大きいですが、この1発で多くの人々の命が奪われました。原子爆弾が落とされるとすさまじい爆風により、建物は破壊されました。そして、人々は吹き飛ばされ、熱い風で体は焼かれました。それだけではなく放射線と呼ばれる体に悪い影響を与えるものも出て、今でも苦しんでいる人がいます。原爆は、たくさんの被害をもたらしました。死者の数は、約7万4,000人。建物の倒壊は、合計で31,309件にもなりました。写真のように駅も教会も崩れ、たくさんの人が亡くなりました。さらに、フィールドワークでは、山里小学校を見てきました。今は、私達が通う小学校と同じような普通の小学校でした。しかし、当時は、原爆が落とされたところから北へ約700mの場所にあり、山里小学校は大きな被害を受けました。当時ではめずらしい鉄筋コンクリートの3階建てでしたが、1、2階を残して3階は全て壊れてしまいました。爆破当時生徒は、夏休みでしたが、学校にきている子どもたち、先生は、みんな亡くなってしまいました。現在の様子からは想像できませんが、この建物が破壊され人々がなくなったと知ると心が苦しくなりました。

次に平和の泉という場所も見学しました。平和の泉が作られた理由は、原爆が落とされたとき爆風や放射線を浴び、多くの方は、体が焼け、「熱くて水がほしい」と言ったそうですが、水を飲むと死んでしまうそうです。さらに、周りには水がなく、あるのは黒く濁り油が浮いている水だけでした。とても飲めるものではなかったそうです。それでも被爆した人達は耐えられずその水を飲むしかありませんでした。そして多くの人が亡くなりました。そんな人たちの霊に水を捧げるために作られたそうです。被爆した人達の苦しさや悲しみが伝わってきました。

そして、私達は、被爆を経験された三瀬さんからお話を聞くことができました。三瀬さんは、お母さんとおばあちゃんと妹、姉、弟たちとお父さんで8人家族でした。原爆が投下された地点から3.6km離れた所に住んでいたらしいです。家族は奇跡的に全員無事で無傷だったそうです。「もう戦争はしたくない」という思いから三瀬さんは今講話をしていて、戦争がどんなに怖いか、どんなことがあったかなどのことを伝えています。原爆が落ちた日のことを知っている人からの貴重な話でした。

原爆が落とされた日、三瀬さんは、お昼ごはんの用意をしていたそうです。大きな音と光におそろわれ、家の中はガラスが壁につき刺さり、めちゃくちゃになりました。その後、学校へ行くと、体育館にはやけどをして動けなくなった人がたくさん運び込まれていました。「水をください」と多くの人が苦しんでいましたが何もできなかったそうです。さらに運動場では、亡くなった人々を木の上で燃やしているという、おそろしい景色が広がっていました。10歳だった三瀬さんにとって心を深く傷つけられた経験だそうです。ちょうど、3、4年生に近い年齢ですね。こんな光景が広がっていたら考えると辛いですね。さらに、戦争が終わった後も食べるものがなく本当に困ったそうです。

みなさんは食べ物がないと困ったことはないですよね。きれいな水が飲めなくなったこともないですよね。私達は、見学や先生の話から、今と昔の生活がどのように違うか調べてみました。今は、自分の好きな料理を選ぶことができたり、好き嫌いをすることができたりします。しかし、昔は選ぶことすらできなかったんです。木の実や野菜だけの汁。芋をいれただけの汁などを飲んで飢えをしのぐような生活でした。また、今では蛇口をひねれば、どのお家でもきれいで安全な水が出てくると思います。水の量を気にしてお風呂やシャワーを使ったり、顔を洗ったり歯を磨いたりする人はいないと思います。でも昔は、さっき紹介した「平和の泉」、三瀬さんの話のように水が欲しくても飲めない人がいたんです。昔と比べてみると、今の当たり前は当たり前でないこと、今がいかに幸せか感じるができると思います。

3、4年生のみなさんも、今あることを当然と考えず、幸せなことだと感じてくれると嬉しいです。そうすると、家族がいること、友達がいること、学校へ通えること、食事ができること、どんなことにも感謝の気持ちがでてくると思いませんか。

私達は修学旅行を通して、感謝を忘れずに生きていくことが大切だと感じることができました。この話を聞いて、たくさんの人がお互いに感謝し合う世の中になると、世界はきっと平和になると思っています。感謝の気持ちを忘れずにこれから生活していきましょう。これで、発表を終わります。 （発表原稿のまま掲載しております。）

地区懇談会へのご参加、ありがとうございました

7/24(金)は、お忙しい中、多くの地域の皆様方、保護者の皆さまにご参加いただき、大変ありがとうございました(各地域から27名、保護者50名参加)。本年度は、せっかく保護者アンケートを取りましたので、その結果を踏まえて話し合いをしていただきました。活発な懇談をしていただきありがとうございました。

懇談は、登下校の様子、放課後や夏季休業中の様子、その他要望が中心で話が進められていました。地域の方々から子どもたちを見守っていただいていることがよく分かりました。ありがたいです。

愛校作業、お疲れさまでした!

8/23(日)は、休日にもかかわらず早朝から愛校作業にご協力いただき、大変ありがとうございました。

今年は梅雨明けしてからほとんど雨が降っておらず、運動場の草があまり伸びていなかったことが幸いしました。草木も一番生い茂る時期なので、保護者の皆様のおかげで学校内がスッキリし、子どもたちがのびのびと活動できるようになり大変感謝しております。

また、山春応援団の方々も快く愛校作業にご協力いただき、大変ありがたいです。第2運動場を中心にきれいにさせていただきました。それだけではなく、中庭をはじめ、国道沿いのフェンス越しまで進んできれいにさせていただいたり、運動場北側の草も刈っていただいたりしました。ただただ感謝しかありません。



【お知らせ】

★ 毎年、運動場のイチヨウの木にたくさんの銀杏がなります。今年もブドウのようにたくさんの銀杏の実がなっています。銀杏が熟したら、収穫されませんか? 自由に拾っていただいて構いません。独特の苦みが茶碗蒸しや炊き込みご飯などでおいしくいただける秋の味わいです。



《9月の行事予定》

- 2日(水) アリーナ水泳学習①
さくら班掃除打合せ
- 4日(金) さくら班掃除開始(~30日)
- 9日(水) 校長、人権・同和教育担当者研修会
※山春小にて6年生授業公開
- 10日(木) アリーナ水泳学習②
- 11日(金) 3・4年親子規範意識学習(6校時)
3年市長とのふれあい給食
- 14日(月) PTA 理事会
- 15日(火) 代表委員会③
- 16日(水) アリーナ水泳学習③
- 17日(木) 小教研半日研
- 24日(木) アリーナ水泳学習④
- 29日(火) スーパーチーズデイ(自学推奨日)
※10/2(金) 小教研山春小研究発表会



《校長のひとり言》

7/28(火) 夕方に熊本地震が起きました。横揺れが大きく、かなり揺れました。被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。1日も早く元の生活に戻れることを願っています。

7月に警備保障会社のALSOKに来ていただき、1・3・5年生に対し、防犯や防災、SNSについてそれぞれ学びました。その中で、災害伝言ダイヤル(下写真)の使い方がありました。現在スマホの普及により子どもたちはスマホの活用はできますが、プッシュ式電話や公衆電話の使い方を知らない子もいます。何事も体験させておかないと便利なものも活用できません。

また、私たちも含めてですが、家族の電話番号を言えますか? スマホは便利でタップすればすぐに電話をかけられます。しかし、スマホがなかったら…考えたことはありますか?

もしもの時のために、**番号を暗記**しておくことが大切です。



子どもたちにおうちの方の電話番号を尋ねると、ほぼ言えません。最低限家族の1~2人の電話番号は言えるようにしておくことも災害が起きた時に役立ちます。ぜひ、暗記させることをお勧めします。